

# あしたば

令和7年6月16日発行

現在会員数 250名

男性 132名

女性 118名

(R7. 5. 31現在)

題字：雨宮博雄

編集・発行 公益社団法人八丈町シルバー人材センター

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2

TEL. 04996-2-4666 FAX. 04996-2-5355

E-mail hachijo@sjc.ne.jp

URL. <https://www.sjc.ne.jp/hachijo/>

**理事会開催報告** 5月21日(水)午前10時から、八丈町役場大会議室において「第2回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

## 1 承認事項

### 1)会員の入退会について

入会2名について承認

### 2)監査報告について

玉置定子監事より5月12日実施の監査について報告、承認

### 3)総会の議案について

議案について事務局より説明し承認

#### 【報告事項】

事業報告について

#### 【議案】

第1号議案 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの計算書類等の承認の件

第2号議案 定款の一部改正の件



第3号議案 理事9名選任の件

第4号議案 監事1名選任の件

## 4)事業委員会の独自事業について

独自事業(自主農場)の廃止を承認

## 2 報告事項

### 1)令和7年4月の事業実績について

受託件数・契約金額、延べ人員の増を報告

### 2)総会の来賓について

招待する来賓について説明

### 3)令和7年度の配分金額について

6年度より増となったことを説明

## 3 その他

### 1)総会における理事の役割について

### 2)熱中症対策・カスハラ防止について

## 広報委員会開催報告

5月21日(水)午前9時20分から八丈町役場大会議室において「第1回広報委員会」が開催されました。

### 1)令和6年度事業実施報告について

実施計画に基づき活動できたことを報告

### 2)広報・会報・チラシの配布について

広報紙・会報掲載について説明

### 3)啓発用品の配布について

PR品は事務局にて検討中、配布案については了承

### 4)作品展について

今年度の開催日を11月17～20日(準備込)に決定

### 5)その他

会員クラウド利用研修予定について説明

## 定時社員総会について

出欠票・委任状をまだ提出されていない方は、早急に事務局へご連絡ください！

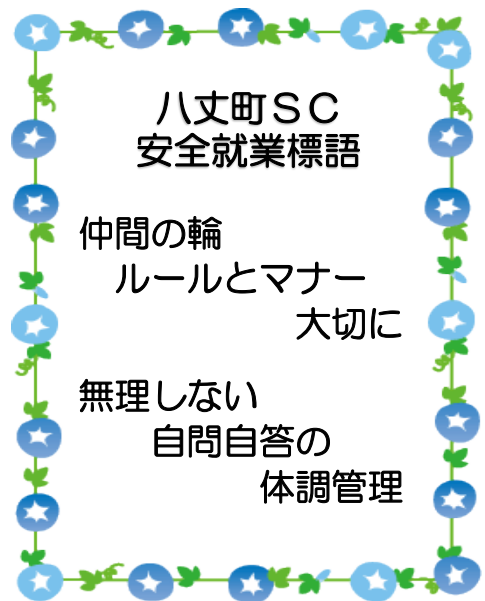
TEL 2-4666



**安全管理委員会開催報告**

5月28日(水)午前10時から八丈町役場第2会議室において、「第1回安全管理委員会」が開催されました。  
主な議題は次の通りです。

- 1 令和7年2月～5月までの事故報告について  
事務局より事故3件を報告
- 2 令和6年度安全管理活動実施計画の総括について  
事務局より昨年度の活動について報告
- 3 安全就業標語の募集について(八丈町独自のもの)  
例年通り募集を決定、6月会報にチラシを同封
- 4 その他  
巡回パトロールの予定と次回の開催日を決定

**健康 「熱中症に注意！」**

出典：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会  
「安全就業ニュース」2025年5月号No.126より抜粋

**熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。 昨年度、全国のシルバー人材センターで3件の熱中症による死亡事故が発生しています。**

**●熱中症はなぜ起こる？**

人は運動や仕事などで体を動かすと、体内で熱が作られて体温が上昇します。体温が上がった時は、汗をかくことや心拍数の上昇によって体の表面から空気中に熱を逃がすことで、体温を調整しています。体温調整がうまくできなくなると、体の中に熱が溜まって体温が上昇し、熱中症が引き起こされます。

**●暑熱順化<sup>しよねつじゅんか</sup>とは？**

体が熱さに慣れることです。暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて、暑さに強くなります。暑熱順化には個人差はありますが、数日から2週間程度かかるそうです。実際に気温が上がり熱中症の危険が高まる前に、日常生活の中で運動や入浴をすることで汗をかき、体を暑さに慣れさせましょう。

**夏のヒューマンエラー**

他の季節なら正常に動くはずの判断力・注意力・集中力も、暑さによる体調不良により意識や警戒力が低下し、作業中の「スイッチを押したつもりが押していなかった」等の単純ミスや「段差に気づかず転倒」「聞き間違い・思い込み」も起きやすくなり、思わぬ事故につながります。

※日々の体調管理とこまめな休息、水分・塩分補給を意識的にとりましょう。エアコンを使用するなどして十分な睡眠をとり、日常生活を整え、疲労を溜めないようにしましょう。小さな体調の変化も気かけ、絶対に無理をしないことが大切です。



## 三根小学校の誕生(後編) ー今井信郎・持丸繁吉の奮闘ー

明治6年(1873)に八丈島学区取締・服部弘道が持ち帰った足柄<sup>あしがらけん</sup>県の通達<sup>ことわり</sup>には、「学校は日常生活に役立つことを学び、自主の理・自由の意識を養うところ」、「知識・技能を伸ばし人生を豊かにするために、身分・性別を問わずだれもが学ばなければならぬ」と、新時代の理想<sup>こちよう</sup>が高らかに謳<sup>うた</sup>われていました。三根村では、副戸長(のちの助役)浅沼喜蔵宅の蚕室を改造し、生徒約20人に数人の教員で小学校を開校しましたが、教員間の対立があったり、教材や教授法は寺子屋時代のままでした。

明治9年(1876)12月、持丸繁吉(のちに大脇旅館を創業)が教員となり、習字<sup>のぶお</sup>や数術を教えていたところ、静岡県<sup>ほしん</sup>の役人今井信郎が来島しました。今井は幕臣として坂本龍馬襲撃事件にかかわり、戊辰戦争<sup>ごせつ</sup>では箱館に籠城して敗れるという深い挫折を経験し、新時代<sup>かつぽう</sup>を渴望するようになっていましたから、八丈島では、学齢者の就学の徹底など、大改革を指導しました。島へ赴任するにあたり特に指示を受けたりしく、「教育は島民にとって起死回生<sup>やくせき</sup>の薬石<sup>やくせき</sup>。片時も欠かせぬものだから、四方に奔走し、時には鞭<sup>むち</sup>をとって教壇に立ち、心をこめて説得を続けた結果、島民は知事の熱意を理解し、喜んで就学した。」と誇らしく報告しました。

当時の三根村は戸数350戸、人口は2142人でしたが、生徒20余人はいかにも少なく、今井は、副戸長とともに学齢者の父兄にいていねいに説明し、「翼<sup>つばさ</sup>をもたなくても遠くの人々と心を通わせたり、座ったままで国内外の動静がわかるのは、すべて学問によるのだから、遠海離島の人々に学問は欠かせない」と説いて聞かせたところ、喜んでつぎつぎ就学し、生徒が100人を越えたので、間口3間×奥行き5間の蚕室<sup>けん</sup>では手狭になり、横に4間に4間半の教場を新設し、教員と助教3人で昼夜とも正規の授業をするという状況でした。

他の村々でも小学校が開校するなか、今井は全島を巡回し、実地に授業法を伝授して歩きました。明治10年3月、今井は三根小を来訪、公立学校として認可し、繁吉を三根村小学周旋人(事務責任者)に命じました。在籍生徒は88人。皆、勉学に励み、夜学生も10人いましたが、多くの生徒を繁吉一人で指導するのは困難で、この旨<sup>むね</sup>を副戸長に伝えたところ、。早速2人を助手として採用、3人は昼夜学習に励めました。今井はこの状態を気にかけて、昼夜の別なくたびたび

来校して直接指導することもあり、その支援は繁吉にとって「暗夜<sup>めいとう</sup>、明燈に逢う悦び」で、感謝の言葉もありませんでした。

ところが2人の助手は1ヵ月足らずで辞職してしまい、教員が繁吉1人では指導が行き届かなくなりましたが、それでも生徒が礼儀正しくなったことを、今井はたいそう喜び、繁吉は自費で燈油を調達するなどして夕学生を勧誘しましたが、夜学生は落胆して去ってしまいました。繁吉は、「自身の怠惰から」と自分を責めたのでした。

同年9月、三根村小学教員に命ぜられた高橋爲直と副教員の浅沼伝蔵は、末吉村の安沢<sup>あんざわこう</sup>で『小学教師心得』『静岡師範学則』などを書き写しました。喜蔵副戸長は大賀郷小学校から『師範学校編輯小学読本』を入手するなど指導の充実に努めましたが、生徒は家の仕事に追われ、17人が退学してしまいました。

爲直教員が病気で12月中旬から出勤できず、伝蔵副教員が翌年2月まで1人で勉強を見ていたましたが、これまた故あって退職し、学生は空しく光陰を送ることになりました。

実情を聞いた島役所では、各村の戸長を集め服部弘道と相談し、繁吉を代役に任命<sup>えいりよ</sup>しました。繁吉はその感激を「師弟ともに、維新<sup>きしん</sup>の勸諭と文明開化の恩恵が、海隅孤島にも届くことを望む」と表現しました。

このように八丈島民が早くから小学校の開設に熱心だった理由を考えると、八丈は「海隅の孤島」とは言え、島のリーダーは若いときに江戸で勉強する機会があったこと、本土との往復を繰り返す間に時代の変化を実感していただろうこと、そして慶応2年(1866)から翌年にかけて「御船」で南シナ海に漂流したとき、香港や開港地横浜を見てきたことが、島の近代化への強い動機づけになったのではないかと思います。漂流船の御船預りだった長戸路収蔵は、二ノ丸留守居役兼書物奉行の林式部に学んだと言われ、漂流者36人(うち帰還者34人)のうちには、当時27才で三根村名主見習いだった浅沼喜蔵や地役人見習い高橋孝蔵(のちに長戸路十兵衛)らも含まれていました。

伊藤 宏



三根小学校百年記念碑

| 令和7年度事業実績 |    |          |            |            |           |           |            |
|-----------|----|----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 月         | 区分 | 受託<br>件数 | 就業延<br>日人員 | 契 約 金 額    |           |           |            |
|           |    |          |            | 配 分 金      | 材 料 費     | 事 務 費     | 計          |
| 5月        | 公共 | 40       | 1,634      | 9,959,953  | 675,690   | 967,352   | 11,602,995 |
|           | 民間 | 11       | 63         | 337,975    | 12,900    | 33,882    | 384,757    |
|           | 計  | 51       | 1,697      | 10,297,928 | 688,590   | 1,001,234 | 11,987,752 |
| 累計        | 公共 | 81       | 3,108      | 18,685,004 | 1,017,412 | 1,743,333 | 21,445,749 |
|           | 民間 | 33       | 215        | 1,133,783  | 46,950    | 113,868   | 1,294,601  |
|           | 計  | 114      | 3,323      | 19,818,787 | 1,064,362 | 1,857,201 | 22,740,350 |

5月末会員数 250名 就業実人員 141名 就業率 56.4%

### 特定健康診査・がん検診について

- 特定健康診査
  - 後期高齢者医療制度健康診査  
(ともに受診券が届いている方)
  - 肺・大腸がん検診  
(40歳以上で八丈町に住民票がある方)
- この機会にぜひ受診しましょう！

**7月12日(土)～14日(月)**  
**八丈町多目的ホールおじゃれ**  
**7月15日(火)～17日(木)**  
**中之郷屋内運動場**

広報はちじょう7月号に掲載予定  
 です。折込チラシもご覧ください。

### 会員入退会状況(5月分)

入会者 よろしくお願ひします  
 男性 2名  
 退会者 なし

### ＊就業相談のお知らせ＊ (要予約)

日時 7月15日(火)午後3～5時  
 場所 八丈町役場第2会議室  
 申込 お電話ください ☎2-4666

上記の日時の場合は予約が必要  
 ですが、何かありましたら随時事務局までご連絡ください。

### 事務局より

来月の配分金支払日は、**7月15日(火)**です。

システムの都合により11時以降の振込になります。  
 ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。

### ●7月は「安全就業強化月間」です。

就業現場の確認、機械の整備、保護具の着用の徹底等、  
 事故が起らないように十分注意しましょう。

